

講演会のご案内(平成 29 年 2 月 4 日 (土) 信州大学東京同窓会)

講師 みやさか しずお
宮坂 静生 先生

- ・ 1937 年 (昭和 12 年) 生まれ、松本市在住
- ・ 1960 年 (昭和 35 年) 信州大学文理学部卒業
- ・ 信州大学医学部保健学科教授、保健学科長を経て、現在は信州大学名誉教授。大学では近世・近現代国文学、日本人の死生観・死生学等を研究、講義

- ・ **月刊俳句誌「岳」** (たけ) **主宰**
- ・ **現代俳句協会会長** (平成 24 年～)
- ・ 日本文藝家協会会員、俳文学会会員
- ・ 「サンケイ新聞」俳壇選者、「NHK俳句」選者
- ・ 第 45 回現代俳句協会賞受賞
- ・ 第 1 回山本健吉文学賞受賞
- ・ 第 58 回讀賣文学賞受賞 (平成 19 年)
- ・ 第 21 回信毎賞受賞 (平成 26 年)
- ・ 松本芸術文化功労者 (平成 16 年)

演題「芭蕉から学ぶこと―その死生観に触れて」

宮坂先生の主な著書

- ・ 全句集「全景 宮坂静生」(第九句集まで収録、平成 20 年)
- ・ 第十句集「雛土蔵」・第十一句集「草泊」(平成 27 年)
- ・ 第十二句集「憤井」(平成 28 年)
- ・ 子規秀句考 ・ 正岡子規―死生観を見据えて (明治書院)
- ・ 俳句地貌論 (本阿弥書店)
- ・ 語りかける季語ゆるやかな日本 (岩波書店)
- ・ ゆたかなる季語こまやかな日本 (岩波書店)
- ・ 俳句第一歩 (花神社)
- ・ 季語の誕生 (岩波新書)
- ・ NHK俳句 昭和を詠う (NHK出版) 等多数

俳句評論に多くの著書があり、実作と同時に活発な提案を続けられている。

人が暮らす地の拠所となる**地の貌(かお)＝地貌(ちぼう)**を見つめ、縄文時代以来の原始感覚・からだ感覚を生かした俳句を行うことを提唱。従来の和歌の伝統に則った季題・季語の枠を拡大し、縄文時代以来日本各地に棲んだ人間の残した特徴的な「地貌季語」を収集し「語りかける季語ゆるやかな日本」他にまとめられた。近刊「ゆたかなる日本のことば―季語の背景」は総合誌「俳句」に 5 年間掲載された近年の集大成である。

NHK 教育テレビ「こころの時代」で放映された「糸瓜の花―正岡子規の死生観」「小林一茶」などは高齢社会の死生観を考える上で貴重な提言となっている。